

血対ID	受理日	番号	感染症 (PT)	出典	概要	新出文 献
70110	2007/09/ 27	70550	ウイル ス感染	Transfusion 2007; 47: 162- 170	輸血により、サルfoamyウイルス(SFV)感染が起こるかをア カゲザルを用いて調べた。感染ザルの血液を非感染ザルに 輸血したところ、輸血されたザルの血液から8週後にプロウ イルスDNAが検出され、その1週間後にセロコンバージョン が起こった。血しょう中に検出限界下限のSFVが検出され た。また感染29週目に唾液中にSFVが検出された。輸血に よりSFVが感染することが初めて示された。	
70143	2007/10/ 26	70679	ウイル ス性脳 炎	Neurology 2007; 69: 156- 165	同種造血幹細胞移植(HSCT)後に急性大脳辺縁系脳炎を 発症した患者9名の臨床、EEG、MRI、ならびに臨床検査特 性を調べた。患者は、順行性健忘、不適切な抗利尿ホルモ ン分泌症候群、軽度CSF多球症、一時的なEEG異常を特徴 とした。MRIでは、T2、FLAIR、DWI画像にて、鉤、扁桃、内 側嗅領、海馬領域内に高信号域を認めた。PCRを用いた初 回腰椎穿刺CSFの検査では9名中6名がHHV6陽性であり、 同脳炎はHHV6と関連がある可能性が示唆された。	16 (=6)
70103	2007/09/ 21	70533	ウエス トナイ ルウイル ス	CDC/MMWR 2007; 56(4): 76-79	ID-NATを用いた強化スクリーニング開始以降に、初めて西 ナイルウイルス輸血感染症例が報告された。2006年に免疫 不全患者2例が、感染ドナー1例(献血時のMP-NATの結果 は陰性)由来の血液製品を投与された後、西ナイル神経侵 襲性疾患を発症した。今回の例はID-NATは実施されておら ず、ID-NATトリガーを促進することが重要である。	
70107	2007/09/ 21	70537	ウエス トナイ ルウイル ス	The New York Times 2007年 7月26日	米国におけるウエストナイルウイルス症例数は1年前の約4 倍であり、大流行が起こる可能性があると政府研究者が報 告している。昨年は米国で4,269症例が報告され、この中 には1,495例の脳症が含まれ、177人が死亡した。今年はこれ まで122症例が報告され、カリフォルニア州と南北ダコタ州で 最も多いが、昨年の同時期は33例のみであった。今年は既 に脳症が42例および死亡が3例ある。	17
70143	2007/10/ 26	70679	ウエス トナイ ルウイル ス	第144回日本 獣医学会学術 集会 2007年9 月2-4日	ウエストナイルウイルスは、近い将来、日本にも侵入する可 能性があるため、日本産蚊の室内継代株を用いて増殖・媒 介能を調べた。アカイエカ、ヒトスジシマカ、オオクロヤブカで ウイルス注入実験を、アカイエカ、ヒトスジシマカで吸血実験 をしたところ、全種類の蚊においてウイルスの増殖が観察され た。媒介試験では、アカイエカ注入、吸血両群、ヒトスジ シマカ2系統の注入群、1系統の吸血群では供試したすべての マウスが12日以内に死亡し、死亡したマウスからはWNVが 検出された。	18
70107	2007/09/ 21	70537	ク羅斯 トリジ ウム感 染	YOMIURI ONLINE (2007 年2月22日 読 売新聞)	千葉県船橋市立医療センターは22日、同県内の50歳代の 男性が、主に牛の病気の原因とされる「気腫疽菌」に感染 し、死亡したことを明らかにした。人への感染が報告され たのは世界初である。気腫疽菌は傷口などから動物の体内に 入り、筋肉が壊死する「気腫疽」を発症させる。同センター は、「気腫疽菌は人には感染しないというのがこれまでの常 識だった。詳しい感染経路を調べるのが今後の課題」とし ている。	
70101	2007/09/ 19	70492	ク羅斯 トリジ ウム感 染	イザ(産経新 聞) 2007年2 月23日	千葉県船橋市立医療センターは22日、2006年2月に搬送 され、死亡した同県内の50歳代の男性から気腫疽菌が検出 されたと2007年2月22日に発表した。人への感染が報告され たのは初めてである。	